

# 株式会社良品計画と横浜市が連携し “感じ良い暮らしと社会”を目指します

横浜市は、中期計画において「SDGsの視点」・「データ活用・オープンイノベーションの推進」・「地域コミュニティの視点」を基本姿勢とし、地域活性化や地域課題解決につながる具体的な取組を進めています。

株式会社良品計画は、生活者や生産者に配慮した商品・サービスを、無印良品として具体化することで、世界の人々に「感じ良い暮らし」を提案しています。

今回、株式会社良品計画から、相互に連携を強化し、**横浜の地域社会での“感じ良い暮らし”を実感できる取組を目指したい**とご提案いただき、地域活性化や地域課題解決に関する包括連携協定を締結しました。

## 1 経緯

- 株式会社良品計画から、港南台駅前の「無印良品 港南台バース」を関東最大店舗として増床リニューアルオープンすることを機会と捉え、「**横浜市と幅広く連携関係を築き、住民のみなさまに地域への愛着をより強く感じていただける“感じ良い暮らしと社会”を目指し、地域活性化や地域課題解決に寄与したい**とのご提案をいただきました。
- 横浜市としてもこの提案を積極的に受け止め、**新たに開業する店舗から港南区内を中心に幅広く地域活性化や課題解決への試みを進め、市内の他店舗に波及する取組につなげていくことを目指し、このたび包括連携協定を締結しました。**

## 2 連携協定の内容

1. 環境に関する実践行動の普及に関すること
2. 地域資源を活用した農業振興に関すること
3. 高齢者の健康・福祉に関すること
4. 施設・空間の有効活用に関すること
5. 災害対策に関すること
6. 子育てや次世代育成支援に関すること
7. その他地域活性化に関すること

### 3 取組の方向性・具体例

#### ○ 「環境に配慮したスマートな暮らし」の実感

2030年までの達成を目指すSDGsや、2050年を見据えた「温室効果ガス実質排出ゼロ（脱炭素化）の実現」に向けて、地球温暖化対策を「自分ごと」として実感できるような取組を共に推進し、SDGs未来都市・横浜を実現していきます。

- ① 食品ロス削減とフードドライブ運動の推進
- ② 規格外商品の販売促進
- ③ 環境に対する市民意識の向上を図るイベント・講座等の開催

#### ○ 「食と農」を実感

無印良品 港南台バースのコンセプトでもある「まちの台所」としての役割を果たし、豊かな心と身体をつくるための食育や、地産地消を実感できる機会を提供し、横浜の食と農を楽しめる取組を推進します。

- ① 横浜産野菜の販売
- ② 地域で食育や健康づくりに取り組むヘルスメイト（食生活等改善推進員会）と連携したレシピの提案

#### ○ 「シニアライフ」の支援を提供

地域の高齢者のみなさまに、生き生きとした日々を過ごしていただくことにつながるような支援や場を提供します。

- ① 当日配送サービスの提供
- ② 高齢者の社会参加を支援するための場を提供

#### ○ 「公共的な場づくり」の研究・実証

市が保有する土地・建物の利活用や、住宅地・団地の再生につながる試みや調査を行います。

- ① 住宅地・団地での暮らしの課題解決につながる出張販売等の支援サービスの提供
- ② 市所有の土地、建物等の有効活用に係る調査・研究
- ③ 団地リノベーションなどを通じて培った、団地再生の知見を活用した調査・研究

#### ○ 「災害への備え」のための「いつものもしも」を推進

日常の暮らしの中に災害への備えを組み込む「いつものもしも」を意識できるような啓発や、災害時における物資調達、情報提供など、防災力向上に資する取組を推進します。

- ① 防災に関するイベント・講座等の開催
- ② 災害時における食料品や日用品の調達
- ③ 災害時における水道・トイレ・周辺情報等の提供

#### ○ 「地域のコミュニティセンター」としての役割の実現

単なる店舗に留まらない、地域に開かれ親しまれる「地域のコミュニティセンター」としての役割を実現していきます。

- ① 多世代が集い交流できるようなイベント・講座等の開催
- ② 地域の子どもが楽しみながら学ぶことができる場の提供

#### お問合せ先

(連携協定全般)	政策局共創推進課長	小池 道子	Tel 045-671-4394
(港南区)	港南区区政推進課長	高岡 昭人	Tel 045-847-8320
(良品計画・無印良品)	株式会社 良品計画	広報・ESG推進部広報課	
			mail: rk-pr@muji.co.jp

横浜市と株式会社良品計画による  
“感じ良い暮らしと社会”の実現に向けた包括連携協定書

横浜市（以下「甲」という。）と株式会社良品計画（以下「乙」という。）は、次のとおり包括連携協定を締結する。

（協定の目的）

第1条 本協定は、横浜における「感じ良い暮らしと社会」の実現に向け、甲及び乙が相互に協力し、緊密な連携を行うことを通じ、横浜の地域活性化や課題解決に寄与することを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携し、協力する。但し、甲乙両者の協議に基づき、他の事項を追加し又は下記のいずれかを検討の対象から除外することができるものとする。

- （1）環境に関する実践行動の普及に関すること。
- （2）地域資源を活用した農業振興に関すること。
- （3）高齢者の健康・福祉に関すること。
- （4）施設・空間の有効活用に関すること。
- （5）災害対策に関すること。
- （6）子育てや次世代育成支援に関すること。
- （7）その他地域活性化に関すること。

2 甲及び乙は、前項の事項に関する具体的な実施内容及び甲乙それぞれの役割並びに費用負担等について、甲乙両者の協議のうえ、決定するものとする。

（実施体制）

第3条 甲及び乙は、「感じ良い暮らしと社会」の方向性と目標について協議し、共通のビジョンをもって、本協定に基づく取組を実施することとする。

2 甲及び乙は、前条各号に定める事項を効果的に推進するため、定期的に協議を行うものとする。

（守秘義務）

第4条 甲及び乙は、本協定に基づく活動において知り得た秘密を相手方の事前の承諾なく第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。

2 前項に規定する守秘義務は、本協定の終了後においても継続するものとする。

（期間）

第5条 本協定の有効期間は、本協定締結日から令和8年（2026年）3月31日までとする。甲及び乙は、有効期間の満了日までに更新に関する協議を行うものとする。

(協議解決)

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定の解釈につき疑義が生じた場合、甲及び乙は、誠意をもって協議の上、解決する。

本協定の成立を証するため、本書2通を作成し、甲乙各自押印の上、各1通を保有する。

令和3年(2021年)5月12日

(甲)

神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10

横浜市

横浜市長 林 文子

(乙)

東京都豊島区東池袋四丁目26番3号

株式会社良品計画

代表取締役社長 松崎 暁